

ともづな

第12号

発行所
黒川まさる
政務調査事務所
Tel.045-781-9580

横浜市会決算特別委員会にて 行政当局に対し、厳しく質問

横浜市も含めた全国の地方議会では、前年度の決算に対する質疑は翌年の10月に集中して特別委員会を開催して審議します。もっと早くの月々くらいに出来ないかと訴えているのですが、現状では難しいようです。自民党では各議員が手分けして質疑を行うのですが、私は市民局・環境創造局・都市経営局・選挙管理委員会に対して質問を行いました。

※市民局 10月5日

黒川質問 3日前から突然表面化した横浜ベイスターズの売却問題に対し、株式会社横浜スタジアムの筆頭株主として、横浜市や横浜市長がもっと積極的に関与し、横浜の球団として存続させるべきだ。
黒川質問 横浜スタジアムの課題も含め市長以下出来ることは何でもやるという決意で臨む。



八景島でトライアスロン

黒川質問 横浜マラソンと横浜国際女子マラソンを統合して市民ランナーも参加できるフルマラソンの大会を開催するべきだ。
黒川質問 交通の問題が最大の課題だが、引き続き開催に向けて研究していく。
黒川質問 サッカーやラグビーのワールドカップ招致は、子供たちに夢を与え、スポーツの裾野を広げ、生涯スポーツの推進に繋がるので今後とも積極的に手を挙げていくべきだ。
黒川質問 ラグビーワールドカップの決勝戦を始め、引き続き積極的にラグフースポーツイベントの開催には力を入れる。

黒川質問 財団法人男女共同参画推進協会が運営する男女共同参画センターの様々な事業は、横浜市からの再委託のよくな発注事業が多く、横浜市が直接委託をした方が効率的ではないか。
黒川質問 様々な団体と広範囲に付き合っているが、経費の削減には積極的に取り組むべきだ。

黒川質問 市民団体やNPOに対して補助金や助成金をばらまくのではなく、補助金依存体質から脱皮・自立できるように指導・助言していくのも男女共同参画センターとしての役割ではないか。
黒川質問 無駄な補助金や助成金はないと考えているが、経費の削減には積極的に取り組むべきだ。

黒川質問 テレビやラジオの横浜市の広報番組の視聴者はとても少ない。いろいろな場面で二次使用が出来るよう契約を見直し、多角的に活用するべきだ。
黒川質問 放送局とも協議して、権利関係を調整しインターネットや意見交換の場などで積極的に活用していく。

黒川質問 大都市制度の議論の中で、区役所の機能の強化を図りそれぞれの区が独自性をもって政策を進められる仕組みを作るべきだ。
黒川質問 中期計画の中で区の組織改革や区独自の政策を市の行政がフォローしていく体制へのを整える。

※環境創造局 10月7日

黒川質問 昨年開催した「無駄撲滅プロジェクト」で事業として仕分けられた「ウエルカムセンター」「環境活動支援センター」「きれいな海づくり・海の森づくり事業」などはその後どうなったのか。
黒川質問 新たな建設を中止して既存施設の活用を検討。事業を終了して民間に任せたい。あらためて事業の役割を見直し再検討している。など指摘を受けて見直しを図っていく。



プロジェクトは無駄撲滅は自民党版「事業仕分け」

黒川質問 みどりの税を負担しているのに横浜の緑が増えたという実感が市民には伝わっていない。みどりの税で公園や街路樹の緑を増やすことも検討すべきだ。
黒川質問 引き続き市民に理解を求めると共に、都市景観のみどりアップを市民が実感できる政策も検討する。

黒川質問 地産地消の推進のために横浜で採れる農産物や海産物が安心して購入できる都市型の「道の駅」や直売所の展開に横浜市として取り組むべきだ。
黒川質問 一定程度の規模の直売所については設置を推進しているが今後市民の声を良く聞いて検討したい。

黒川質問 野島公園の整備が進んでいるが、横浜で唯一の自然の海岸線である野島海岸の管理・整備がなされていない。安心して子供たちが遊んだり、潮干狩りに興じる事が出来るようにしたい。
黒川質問 護岸工事を進める計画だが、併せて砂浜の管理体制や整備も検討する。



小さくなった野島海岸で海岸清掃をしました

黒川質問 金沢区を対象とした「横浜グリーンバレー構想」だが、地元ではあまり認知されていない。大学だけでなく小学校との協働や、小さな企業でも取り組めるなど、もっと市民自線の推進をしていくべきだ。
黒川質問 環境と経済と教育を三位一体で進めていく、壮大な構想だが、市民の理解無くして成功はない。本格スタートに向けて市民自線を取り組んでいく。



※都市経営局 10月12日

黒川質問 横浜独自の大都市制度構想の実現は、国に対してだけでなく、同規模の政令市や近隣の市町、神奈川県との協調や調整が不可欠であり、政治的な課題だが、市長や当局に先頭を切って勝ち取っていくリーダーシップはあるのか。
黒川質問 しっかり情報を収集し、国に対する要望などもしっかり行っていく。

黒川質問 パートナー都市と姉妹都市の位置づけを明確にし、友好親善だけでなく、経済・観光・文化・学術・政策など幅広い交流で、戦略的に世界各地の都市とのネットワークを構築すべきだ。
黒川質問 都市間競争の時代に取り残されないよう、積極的にかつ戦略的に取り組んでいく。

黒川質問 横浜市の公共施設の維持管理財源を補填し、企業の地域貢献姿勢が目に見え、施設の魅力が向上し市民に親しまれるという意味において今後もネーミングライツには積極的に取り組んで欲しい。
黒川質問 新たなガイドラインを策定し、適宜制度の点検や見直しを図りながら積極的に取り組んでいく。



日産フィールド小机から日産スタジアムを臨む

黒川質問 池子米軍住宅の建設戸数が400戸と減少したが、高さ制限や緑の保全、交通の問題など地元との協議・調整を図った上で進めなければならぬ。
黒川質問 地元の意見や要望を国にはきちんと伝えながら進めていきたい。

黒川質問 旧小柴貯油施設は返還から4年も過ぎていないのに目に見えない形で跡地利用が進まないがどうなっているのか。一部私有地の問題も含めどんと国に働きかけるべきだ。
黒川質問 土壌汚染の問題を解決させてから、タンクや工作物に取り組み、その後からの移管となるので時間がかかっているが、引き続き交渉を続ける。



小柴の地下タンク

※選挙管理委員会 10月14日

黒川質問 選挙の開票事務の迅速化に対する取り組みが甘いのではないかと。時間が短縮されれば経費の削減にも繋がるし、スタッフも早く帰宅できる。更なるカイゼンに取り組んで欲しい。
黒川質問 開票日には様々な区局の職員が開票所で作業を行う。共同作業を行うことで行政職員の意識を改革し、積極的に時間短縮・経費削減に取り組むたい。

今回の決算特別委員会では、スポーツ振興や大都市制度、無駄撲滅プロジェクトなど、長期的に取り組んでいる課題からサイドトリアスロン、野島公園、横浜グリーンバレー構想、道の駅、池子や小柴の米軍施設の問題など、金沢区内の問題に対しても多岐にわたって質問をいたしました。
長時間にわたる質疑の詳細については、横浜市会ホームページの会議録・インターネット録画中継で公開されています。議員個人の名前で質疑を検索できる機能もありますのでぜひ黒川まさるのホームページの質疑応答ページを確認ください。

政治家はこう使い！ 横浜市会議員の活用方法

3年半の議員生活の中で、市民・区民のみならず、様々な陳情や相談をいただきました。解決出来たことも、試行錯誤の中でうまくいかなかったこともありますが、対応についての様々な経験を蓄積することができました。対応についての様々な経験を蓄積することができました。

保育園に入れて欲しい
老人ホームに入れて欲しい
病院に入れて欲しい
生活保護を受けたい
市営住宅に入れて欲しい

いつも切実な思いで相談いただきましたが、基本的にこういったことは完全にガラス張り、条件により優先順位が決まり、公開抽選などの方法で決定します。ただし、様々な条件の中で申告していない点があったり、説明が足りなかったり、改善の方策が考えられなかったりといったことで解決できたり、納得いただけなかったりも意外に多くあります。まずは私に何でも相談してください。



熊本市の保育園と子育て支援の複合施設

利害の衝突によるトラブル
事件や事故に巻き込まれた
これも市会議員として出来ることは限られていますが、話を良く聞いて行政当局に問い合わせ、事実関係を整理してみることもあります。また、弁護士・司法書士・税理士・司法書士・行政書士などの友人・知人のネットワークもあります。私から案内をして解決したケースもありました。

政治や行政が間違っている
こういうことを言っている

個人的なことや理不尽なことなどは警備や陳情の窓口を務めさせていただきます。但し、私の政治信条に反することは受け付けることはしません。最近では教室へのクーラー設置、保育所の拡充、外国人参政権、教科書問題などに対する相談やご意見も多くなりました。国政に関することでも横浜市会として国に対して意見書を提出することが出来ます。

役所の動きが遅い
頼んだのにやらない
こういう依頼に対しては、必要に応じて担当部署に訪問したうえで、いつまでに出来るのか、出来ないのか、検討段階なのか、聞き取り調査をして結果を必ず報告いたします。やりとりが途中でストップしているために解決が遅れてしまっているケースも良くありますので、お気軽に相談してください。

横浜市の仕事が欲しい
行政に口利きをして欲しい

こういう依頼はほぼ無くなりましたが、業者登録の方法や、中小企業に対する様々な低利融資、特殊な技能やノウハウ・アイデアに対する助成制度や支援制度などは積極的に紹介しています。企業間のネットワークや産・学・官・市民団体との連携などにつながり新しいビジネスが生まれることもあります。また、厳しい中小企業の実情を聞かせていただいた体験から「横浜市中小企業振興基本条例」の制定に繋がりました。

「カーブミラー」を設置して
「止まれ」の標識をつけて
崖地など危険な場所を整備して

こういう依頼の際には必ず現場を視察して、写真入りの報告書を関係当局に提出し、交渉します。警察署や土木事務所など関係当局でも調査をして、必要性が認められれば設置となります。多少時間はかかりますが、危険な場所があった場合には私まで一報ください。



「とまれ」で子供たちも安心です



カーブミラーで安全確認

スポーツ大会をしたい
様々なイベントをやりたい
発表会や展覧会をしたい
練習や試合の場所がない

公共の施設以外にも企業や大学の施設などを紹介できることもあります。小中学校の校庭や体育館も登録してインターネットで借りることが出来るシステムも整備が進んでいます。抽選や料金など様々な制約はありますが、出来るだけ情報を提供して実現に協力しています。但し公平性に欠けるような要望には応じられません。また、区民文化センターの建設については金沢区の議員団全員で取り組んでいる課題です。



空手道の大会をお手伝いしました

黒川まさるの活動は、ホームページからアメーバブログ・ヤフーブログでチェックしてください。www.masaru-k.net

黒川まさる
横浜市政報告会
愛する金沢の集い
日時：平成22年11月26日(金)午後6時開場
場所：金沢公会堂 **入場無料!**
第一部：愛する金沢アンケートの結果報告
第二部：北川正恭教授講演
「ローカルマニフェストが日本を変える」
第三部：「愛する横浜・金沢再生プラン」の発表
Challenge! Change! Chance! Challenge! Change! Chance!



弁士 横浜市会議員 黒川まさる

黒川まさる

ローカルマニフェスト推進地方議員連盟共同代表

早稲田大学マニフェスト研究所所長

北川正恭

弁士 早稲田大学大学院教授

開かれた、新しい政治を目指す、黒川まさるに対する期待、要望、激励、メッセージなどをお寄せください。
返信FAX 045-786-4310

.....

.....

.....

お名前 _____ ご連絡先 _____

ご連絡いただいた方にはお返事をさせていただきます
(住所・メールアドレス・FAX番号・何でも結構です)